

経営比較分析表（平成29年度決算）

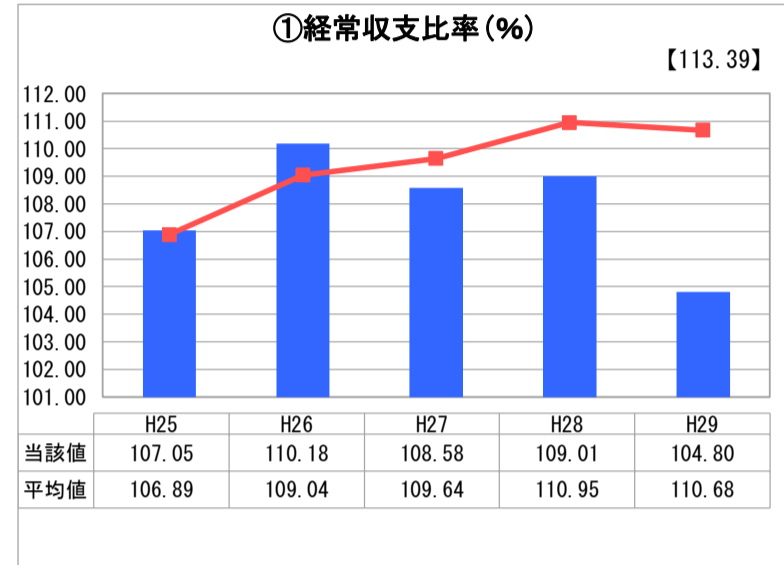
大阪府 熊取町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	81.67	99.13	2,650	

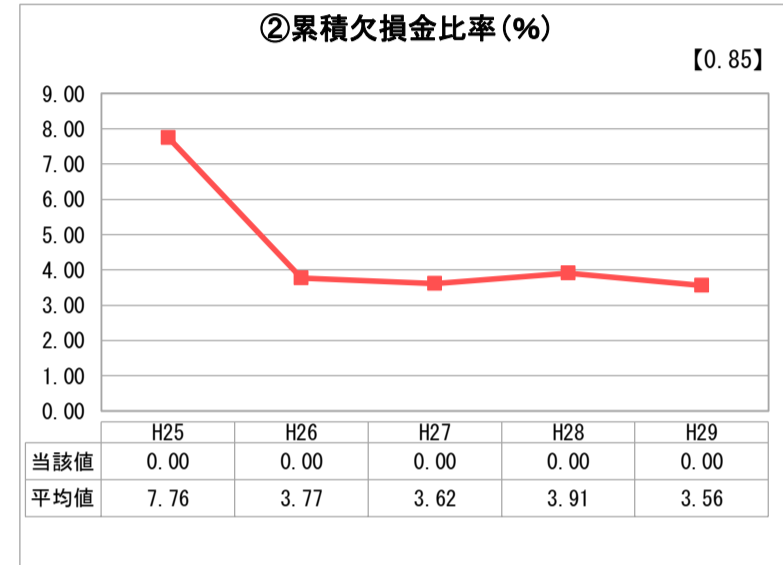
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
43,927	17.24	2,547.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
43,533	14.00	3,109.50

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

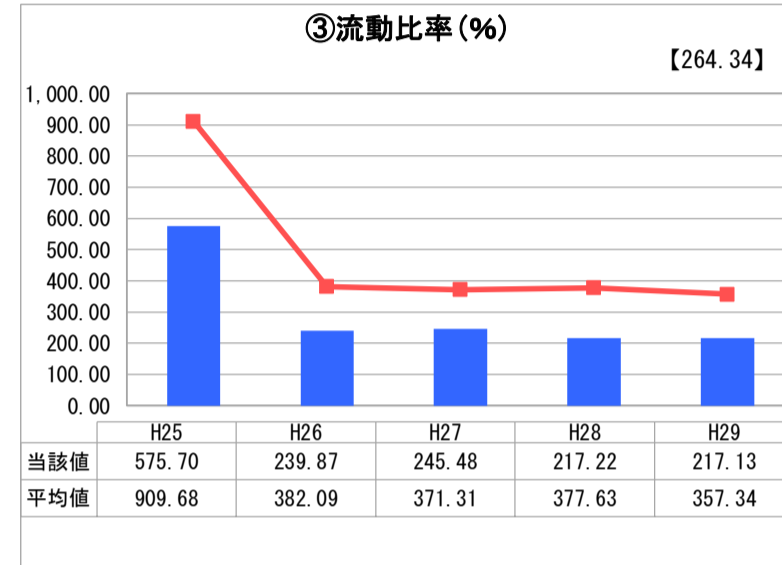
1. 経営の健全性・効率性



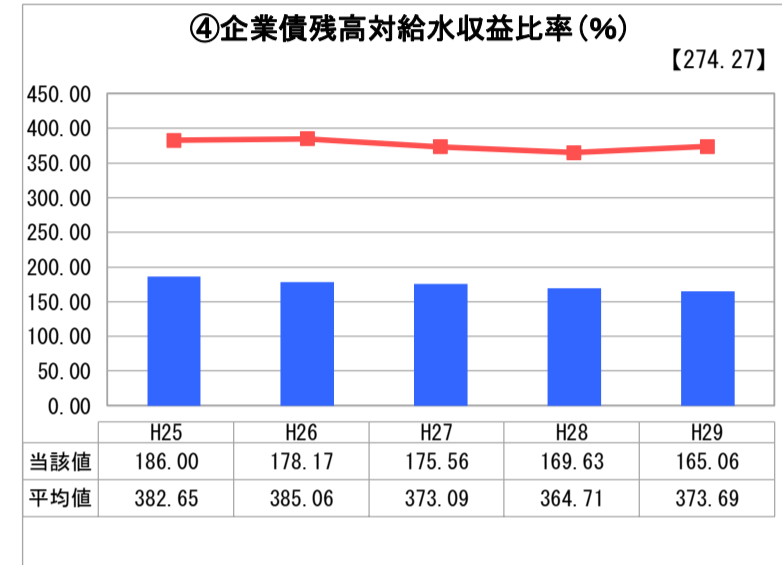
「経常損益」



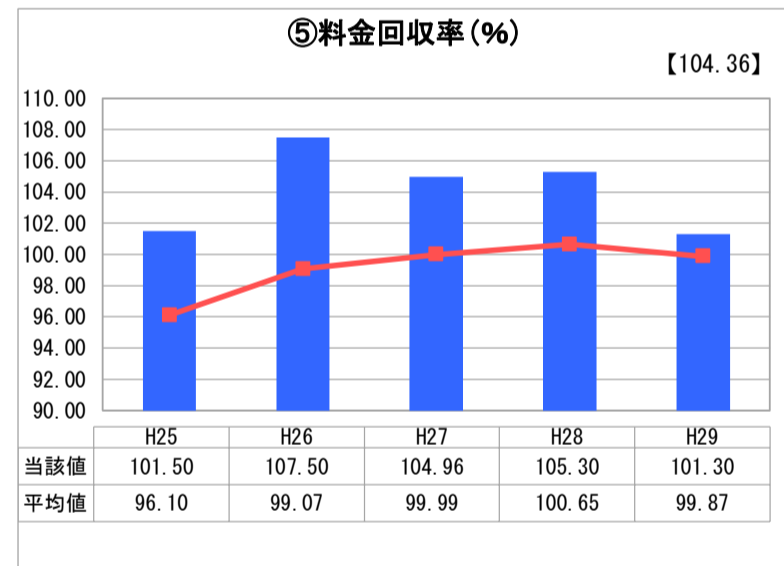
「累積欠損」



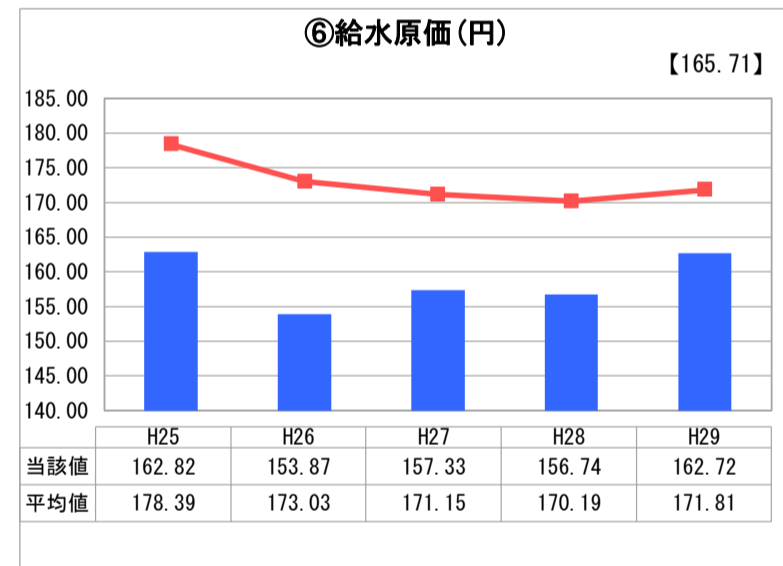
「支払能力」



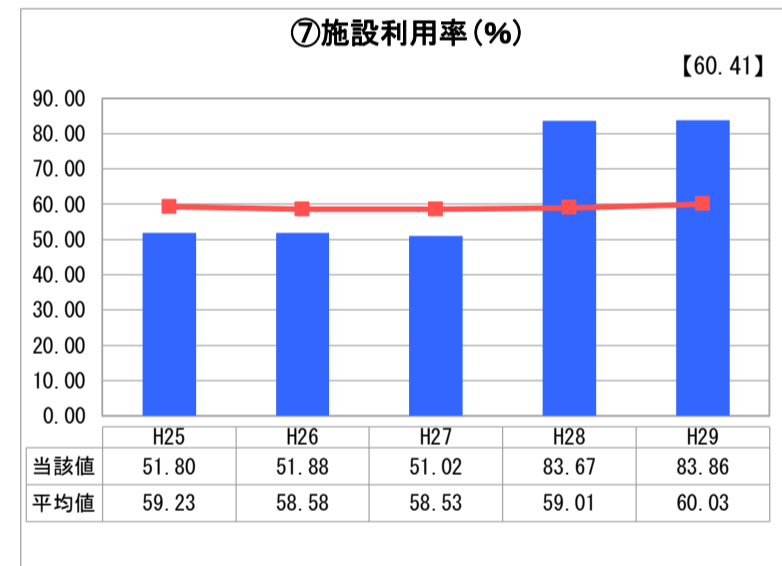
「債務残高」



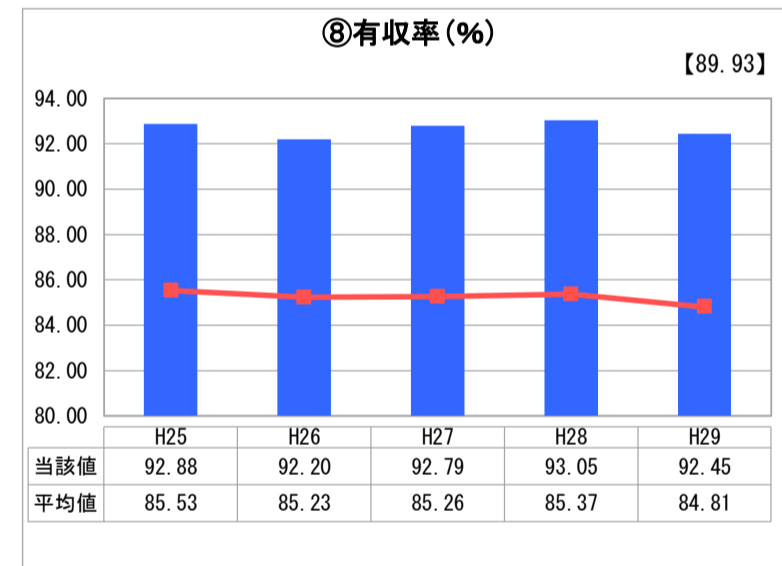
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

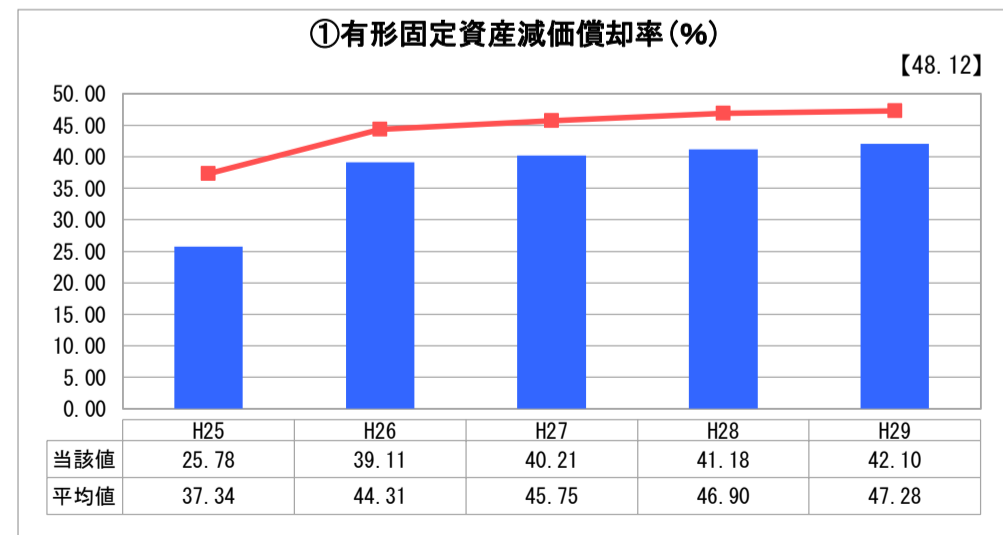


「施設の効率性」

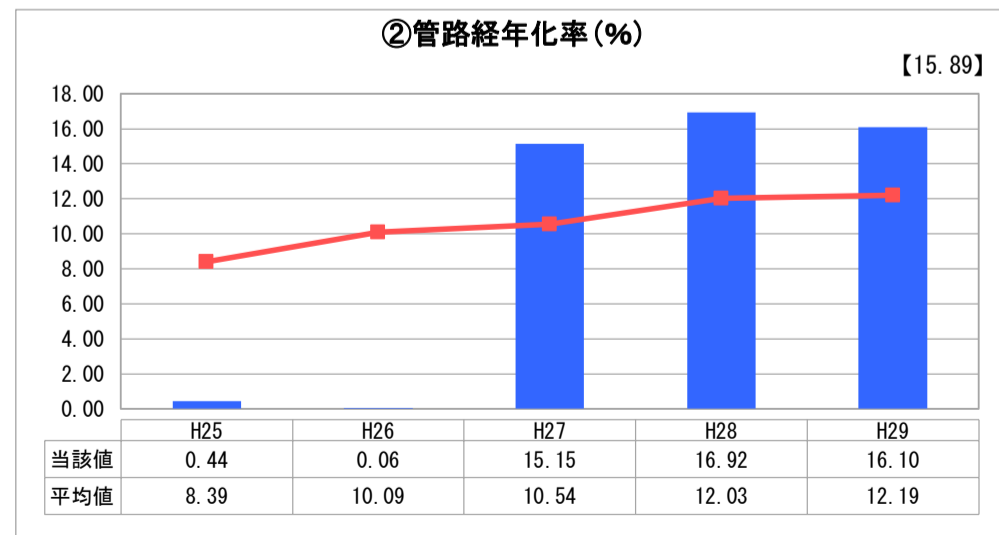


「供給した配水量の効率性」

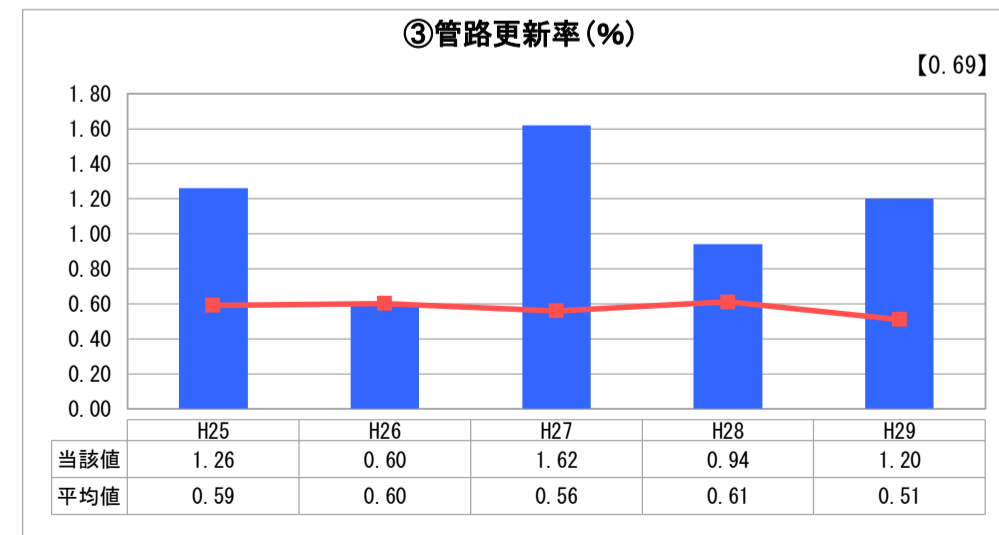
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① H28からH29にかけて、当該値が減少しているのは、H29は町内全域で実施した漏水調査業務やその後実施した漏水修繕業務、退職手当負担金繰入額が増加したことなどにより、営業費用が前年度と比較して大幅に増加したことが原因です。

③ H25からH26にかけて、当該値が減少しているのは、公営企業会計制度の見直しにより、1年以内に償還予定の企業債の表示区分を、借入資本金から流動負債に変更したことが原因です。

⑦ H27からH28にかけて当該値が増加しているのは、H28に策定した「熊取町第6次水道拡張事業計画」において、一日配水能力を修正したことによるものです。

2. 老朽化の状況について

② H26からH27にかけて当該値が大幅に増加したのは、大規模な住宅開発に伴い設置した管路が法定耐用年数の40年を経過したことによるものです。

③ H26からH27にかけて当該値が増加しているのは、配水塔除却や減圧弁設置等の施設整備がH26に完了し、H27は管路更新を重点的に実施したことによるものです。

全体総括

本町の経営は数値からも健全性を確保できているものと考え、その上で、今後の改善に向けた取組等については、公平性の確保の観点から、料金徴収の更なる強化に努めてまいります。

H28に策定した「熊取町第6次水道拡張事業計画」に基づき、耐震管の布設替工事を計画的に行い、管路更新率向上に努めたほか、H29には経営戦略を策定し、その中で将来の財政収支見通しを作成し、安定した事業運営に努めているところです。

また、H30には大阪広域水道企業団と「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」を締結し、H33からの統合に向けての統合素案を策定し、より詳細に検討してまいります。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。